

『日本はスゴい!』

多治見西高等学校附属中学校 二年 廣田 倅帆

水は人が生きていくためには必要不可欠です。水が飲めないということ  
は生きていけないということです。私たちには水があるから今生きていけ  
ているということです。

私は前に香港へ行きました。香港のホテルには『水道の水は飲まないで  
ください』と書いてあり、ペットボトルの水が置いてありました。香港で  
は現地の人でも観光客もみんなペットボトルの水を買っていました。香港で  
切っていたり、とても高かったりして、なかなか簡単には手に入れられま  
せんでした。とても高いだけでなく、お店によってお水の値段が違い、安  
く見積もって一香港ドルを十四円だとしても二百円、高いところだと三  
百円以上する店もありました。日本では五百ミリリットルペットボトルの  
水ならば百五十円前後なのに香港は高くおどろきました。

では、なぜ香港では水道水をおんではいけないのでしょうか。それは水  
を浄化していないからだと考えられます。海外では水道水が飲める国はほ  
ぼありません。世界百九十三カ国のうち、飲める国は十五カ国のみです。  
ただ、その十五カ国でもまだ国民が安心しておらず、ミネラルウォーター  
を飲む国や、広い国土の一部のみ整備されているという国もあります。

では、なぜ水道水がのめない国が多いのでしょうか。それは水道の水を  
安全にして提供することを徹底して水道を整備するよりも、安全な水をペ  
ットボトル等の容器に入れて販売したほうがコストがかからないからだ  
と言われています。そのため、香港のように水道はあっても水道の水が浄  
化レベルが低いので飲むことができないという理由もあります。また、ア  
メリカ等の国土が広い国は水道水を浄化するのが大変なため、都市部のみ  
整備されているということもあります。

『地球は青かった。』

というユーレイ・ガガーリンの言葉にもあるように地球は約十四億立方キ  
ロメートルとされる水によって表面の七十パーセントがおおわれていま  
す。そのうち九十七・五パーセントは塩水で、人間が飲むことのできる淡  
水は残りの二・五パーセントしかありません。しかも、淡水のおよそ七十  
パーセントが氷河、氷山として固定されており、残りの三十パーセントの  
ほとんどは土の中や地下深くに存在する地下水となっています。そのため、  
人間が利用しやすい河川などに存在する地表水は淡水のうち約〇・四パー  
セントしかなく、これは地球上の全ての水のわずか〇・〇一パーセントで、  
そのうち約十立方キロメートルだけが持続的に利用可能な状態にあり  
ます。持続的に利用できるというのは雨などによってもたらされる水のこ  
とで、浄化しないととても汚く、飲めない水です。そのため、アフリカな  
どでは浄化する設備がなく、川に流れている汚れた茶色の水を飲み、その  
水のせいで病気がまんえんし、五歳まで生きられる子供がごく少数しかい  
ません。

私はこれを知り、蛇口をひねればいつでもおいしいきれいな水が出てく  
る日本は恵まれていると分かりました。

水は有限です。そのため、いつかは無くなってしまいかもしれません。  
でも、水がないと生きていけません。だから私は大切にしていきたいです。  
これからは、日本の水道技術とおいしい水に感謝して限りある大切な資源  
『水』を未来へつないでいくためにも、ムダづかいをせず節水をこころが  
けていきたいです。日本のおいしい水に乾杯!!